



グローバル創薬エコシステムに不可欠な日本をめざして

～第二の開国のための“官民協議会”において期待される「5つの役割」～

岩崎真人

2024年7月30日

官民協議会に期待される「5つの役割」

官民が連携し、創薬エコシステムの実現に向けて、医薬品・医療における成長産業政策で海外を惹きつける

第二の開国のための“官民協議会”として各施策の進捗を確認・加速する

厚生労働省をはじめとした関係省庁  グローバル市場を活躍の場とする製薬企業・VC・アカデミア・スタートアップ経験者



① インテリジェンス

最新情報をもとに現状を評価

- ・ 薬事（海外ステークホルダーの視点も入れて最適化）
- ・ グローバル創薬環境の変化を理解
 - スタートアップ
 - VC他からの投資
- ・ アンメットメディカルニーズ



② 投資最適化

限られた投資の配分をKPI達成度で評価し、最適化を行なう

- ・ シーズ探索
- ・ アーリーステージ臨床試験
- ・ VC（ベンチャークリエーションモデル）
- ・ 新技術に対応できるCDMO



③ 海外資本の呼び込み

「第二の開国」のために海外資本に働きかける

- ・ 海外VC
- ・ 海外製薬企業
- ・ 認定VCのグローバル化



④ 人材・組織の育成

・ グローバル展開を可能とする人材・組織を育成

- ・ 起業
- ・ 経営
- ・ 海外市場を入れた事業戦略立案
- ・ 出口戦略（M & A/IPOにおけるノウハウ）

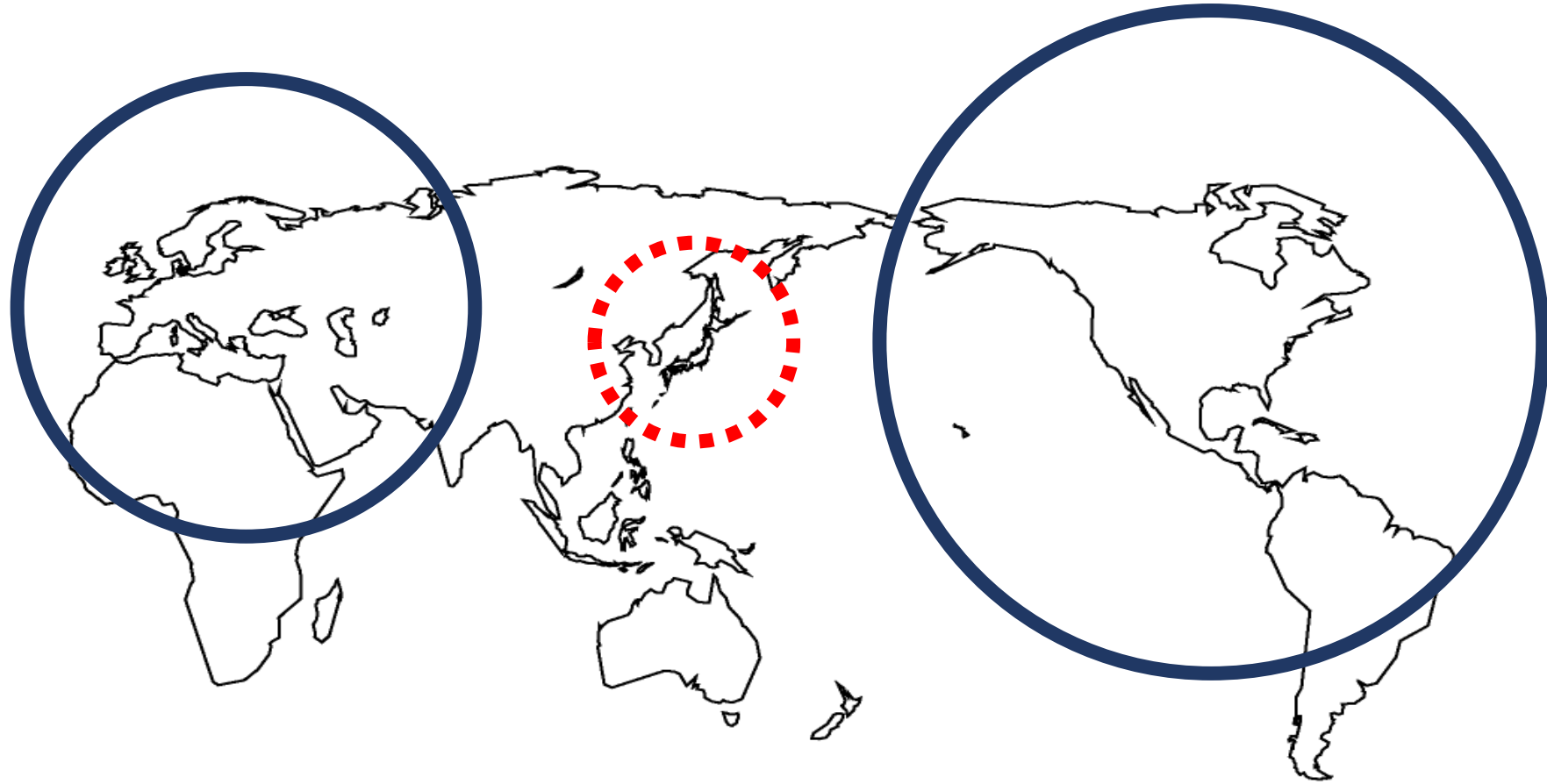


⑤ 海外・国民へ発信

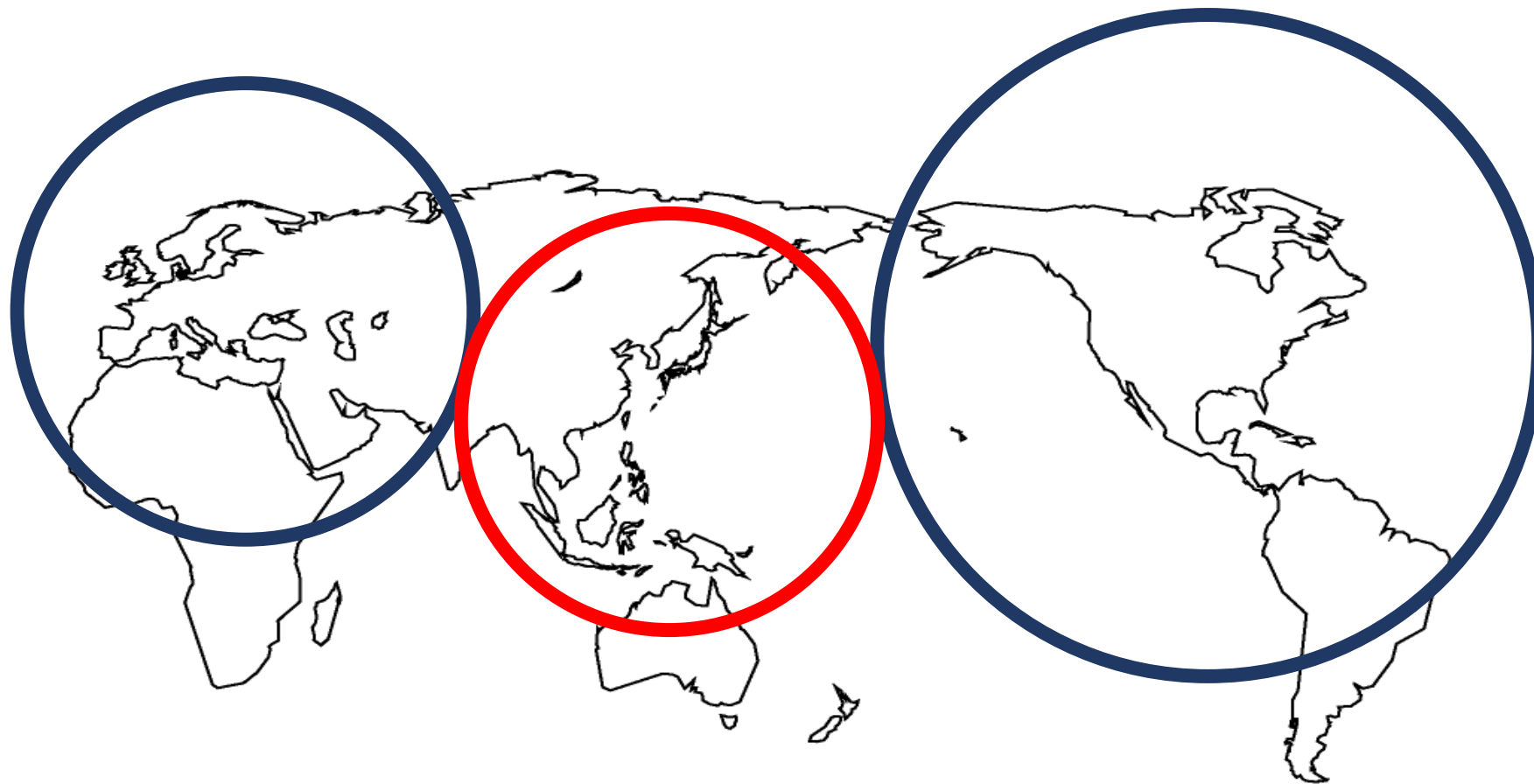
創薬への「本気度・魅力度・重要度」を発信

- ・ 薬事システムの周知
- ・ アジアへのサポート施策
- ・ スタートアップサポート
- ・ VCサポート
- ・ ドラッグラグ・ロス対策
- ・ 希少疾患への取組み

【参考資料1-1】現在の「グローバル創薬エコシステム」と日本



【参考資料1-2】グローバル創薬エコシステムにて日本が一員としてプレゼンスを発揮する



アジアを含め、グローバル創薬エコシステムに不可欠な日本となる

【参考資料②】各ステージにおける官と民の役割分担と連携

■創薬バリューチェーンの各ステージ



■各ステージにおける官と民の役割分担と連携

